

## ドイツ・フレセニウス大学の学生 15 名が本学に研修に訪れました

平成 27 年 2 月 14 日から 24 日の 11 日間、ドイツ・フレセニウス大学の学生 15 名が、本学に研修に訪れました。本学とフレセニウス大学は、平成 25 年度から理学療法学科学生の相互派遣研修を行っており、今回が 3 回目の来日研修です。昨年 9 月に本学から 14 名の学生をドイツに派遣しましたが、今回来日したのは、そのときに交流した学生が中心です。

研修では、群馬整肢療護園・黒沢病院・上牧温泉病院・初台リハビリテーション病院・本学附属クリニックを見学し、日本の医療・理学療法の実態を学びました。また日独学生混成のグループで、両国ともに共通の臨床思考過程のトレーニングである Problem Based Learning (PBL) の課題に取り組み、プレゼンテーション・ディスカッションを通じて両国共通の思考過程、各国に特徴的な考え方について学ぶことができました。このほか、本学附属幼稚園とも交流を持ちました。

また、日本文化体験として、だるまの絵付けや餅つき、和装、華道・茶道・書道に挑戦したり、本学の和太鼓集団「舞」と交流して太鼓を叩いてみたり、学生の実家で囲炉裏を囲んで食事をしたりなどしました。

国や文化は異なっても同じ理学療法士を目指す者どうしで、共に学び交流を深めたことは、日独双方の学生にとって、かけがえのない貴重な経験となったことでしょう。グローバル化がさらに進むこれからの時代、いろいろな患者様に対応できる力につながることを期待しています。

高崎健康福祉大学とフレセニウス大学は、これからも協力して学生教育の充実に努めていきます。

末筆ながら、今回の研修でお世話になった皆様方に厚く御礼申し上げます。



※本研修は、日本学生支援機構の留学生支援制度(短期受入れ)に採択され、奨学金を得て実施されました。